



取扱説明書



目次

1. はじめに.....	3
1-1. 安全上の注意	4
1-2. 構成品一覧	8
1-3. 外観および各部名称	9
1-4. 接続構成図	11
2. 設置方法.....	12
2-1. 設置する際の注意事項	12
2-2. IPカメラの設置	13
2-3. ドームカメラの設置	14
2-4. カメラケーブルの防水方法	15
2-5. 録画装置の接続	16
3. 基本操作.....	17
3-1. 録画装置の初期設定	17
3-2. ログイン操作	18
3-3. 画面に表示されるアイコン	18
3-4. 手動録画の開始・停止	19
3-5. スケジュール録画	19
3-6. 再生方法	21
3-7. 録画映像をバックアップする	22
3-8. 録画装置の時刻を調整する	23
3-9. 録画装置の電源を切る	24
4. メニューの説明.....	25
5. 設定画面.....	26
5-1. デバイス設定	26
5-2. CH設定	28
5-3. Network設定	32
5-4. アラーム設定	34
5-5. アカウント設定	35
5-6. システム設定	36
6. モニターメニュー.....	38
7. トラブルシューティング.....	39
8. 仕様.....	40

1. はじめに

このたびは、見張隊エーグル 04 をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。

この取扱説明書（以下、本書）は、見張隊エーグル 04（以下、本装置）の設置方法、操作方法、および構成などを説明いたします。

本装置の特長

- ・ 4台のカメラが設置できます
- ・ モニター付録画装置（録画装置）でカメラ映像を録画・再生することができます
- ・ スケジュール録画、モーション録画ができます
- ・ USB の記録媒体で、録画データのバックアップができます
- ・ ネットワーク接続により、本装置の時刻を自動で補正することができます。

本書では、呼称を以下の通り定義いたします。

呼 称	意 味
カメラ	本装置に付属のネットワークカメラ全般を指します。
IP カメラ	本装置に付属のネットワーク接続ができるプレート型(細長い形状)のカメラ製品を指します。
ドームカメラ	本装置に付属のネットワーク接続ができ、ドーム型のカメラ製品を指します。
録画装置	ネットワークカメラ専用のモニター付録画装置を指します。
HDD	本装置に付属のハードディスクドライブを指します。
ライブ映像	カメラから入力され、モニターに映し出されている映像を指します。 (録画された映像ではありません。)
録画	映像を HDD に記録することを指します。
録画映像	HDD に録画されている映像を指します。
ビデオロス	映像信号が途切れたことを意味します。
モーション（動体）検知	映像に変化があった時（例：人が歩いている）に、それをトリガーとして、録画やアラームを鳴らすことができる機能を指します。

- ・ 本装置のご使用にあたって必要とされる一般的なパソコンの操作につきましては、本書では記載しておりません。あらかじめご留意ください。
- ・ 本書の図や画面は、説明を目的とするため、実際の表示と多少異なる場合があります。ご了承ください。

【重要】録画装置の映像をパソコンから確認することができない件について

本装置の映像をパソコンから確認する方法として、Adobe Flash Player を使用しています。2020 年 12 月 31 日に Adobe 社が Flash Player のサポートを終了し、2021 年 1 月 12 日以降、Flash コンテンツの実行をブロックしています。

ブラウザは、サポート終了日以降、Flash Player の実行を無効にしています。

従って、本装置の映像をパソコンから確認することができなくなりました。ご了承ください。

Flash Player がパソコン内に残っている場合、映像の確認が可能です。Adobe 社から Flash Player を直ちにアンインストールすることを強く推奨されています。

引き続き、録画装置からライブ映像の確認、映像の再生、バックアップした映像をパソコン上で確認することは可能です。

1-1. 安全上の注意

本装置を操作する前に本書をよくお読みください。本装置は精密機器であり慎重な取り扱いが必要です。また、カメラを設置する際、設置する地域の条例やガイドラインに従って設置してください。

●安全に正しくお使いいただくために

本書および製品の表示では、製品を安全にお使いいただき、ご使用になる方や他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次の用になっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

■ 表示の説明

誤った取り扱いをしたときに生じる危害、障害の程度を区分し説明します。



警告

この表示の注意文を無視して誤った取扱いをすると、「死亡または重症を負う可能性が想定される」内容を示しています。



注意

この表示の注意文を無視して誤った取扱いをすると、「損傷を負ったり物的損害が想定される」内容を示しています。

お願い

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本装置の本来の性能を発揮できない、または、機能停止をまねく内容を示しています。

■ 図記号の説明

お守りいただく内容の種類を絵記号で区分し説明しています。



○記号は、してはいけないこと「禁止」を示します。



●記号は、しなければならないこと「指示」を示します。



△記号は、注意を促す内容を示します

■ 設置場所について



警告



●不安定な場所、振動の多い場所、強度の弱い壁への設置禁止

カメラを取り付けても十分に支えられる壁面にしっかりと取り付けてください。落下する恐れがあり、破損やケガの原因となることがあります。



●壁面内の配線や配管（ガス管・水道管等）に注意

ネジなどで配線や配管を傷つけると、火災・感電の原因となります。



●湿度の高い場所への設置禁止

風呂場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは使用しないでください。火災・感電の原因となります。



●本装置は日本国内で使用する

本装置は日本国内専用です。国外で使用すると火災や感電の原因になります。

また、他国には独自の安全規格が定められており、本装置は適合していません。



注意



●モルタル塗装部への設置

穴開けにより、古い壁が落ちることがありますので、注意して穴開けをしてください。



●火気のそばへの設置禁止

本装置や電源ケーブルを熱器具等の発熱する物に近づけないでください。

カバーや電源ケーブルの被覆が溶けて、火災・感電・故障の原因となることがあります。



●直射日光、高温の場所への設置禁止

直射日光の当たるところや、高温のところに置かないでください。

内部の温度が上がり、火災・故障の原因になることがあります。



●油飛びや湯気が当たるような場所への設置禁止

調理台のそば等油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電となることがあります。



●不安定な場所への設置禁止

ぐらついた台の上や傾いたところ等、不安定な場所に置かないでください。また、本装置の上に重い物を置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因になることがあります。



●重電機器・電磁波を発生する機器の近くへの設置禁止

業務用洗濯機、工作機械、電動機などの重電機器、電磁波の発生する機器の近くに設置しないでください。

また、上記と同じ電源元から電源を供給しないでください。ノイズの影響を受けて異常が発生するおそれがあります。

お願い

●本装置を正常にまた安全に使用していただくために、次のようなところへの設置は避けてください。

- ・ほこりが多い場所
- ・極度に振動が激しい場所
- ・気化した薬品が充満した場所や、薬品に触れる場所
- ・強い磁界を発生する装置などが近くにある場所
- ・極度に高温や低温になる場所

●家電機器 (AV 機器/調理機器/空調機器など) から離して設置してください。

特にテレビ等のリモコンを本装置に近くで操作すると、誤動作するおそれがあります。

■使用について

(1) こんなときは



警告



●発煙への対処

万一、煙が出ている、異臭がする等の異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本装置の電源コードをコンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認してから、ご購入店か弊社に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。



●水が装置内部に入った場合の対処

万一、内部に水が入った場合は、すぐに本装置の電源コードをコンセントから抜いて、ご購入店か弊社に修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



●電源アダプタ、電源コードが傷んだ場合の対処

電源アダプタ、電源コードが傷んだ状態 (芯線の露出・断線等) のまま使用すると、火災・感電となります。すぐに本装置の電源コードをコンセントから抜いてご購入店か弊社に修理をご依頼ください。

(2) 電源について



警告



●家庭用電源以外の禁止

AC100V 家庭用電源以外では絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となります。



●電源アダプタ・電源コード

専用の電源アダプタおよび電源コード以外は絶対に使用しないでください。

火災・感電・故障の原因となります。



●電源アダプタ・電源コードの取扱注意

電源アダプタ・電源コードを傷つけたり、分解したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物を載せたり、加熱したりすると損傷し、火災・感電の原因となります。



●ぬれた手での操作禁止

ぬれた手で電源コードを抜き差ししないでください。感電の原因となります。



●たこ足配線の禁止

分岐ソケットを使用した、たこ足配線はしないでください。火災・感電の原因となります。



注意



●電源コードの取扱注意

電源コードを抜くときは、必ずプラグ本体を持って抜いてください。コード部を引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



●乗ることの禁止

本装置に乗ったり、こしかけたり、すわったり、よりかかたりしないでください。特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。倒れたり、こわれてけがの原因となることがあります。

(3) 禁止事項について



警告



●改造の禁止

本装置を分解・改造しないでください。

火災・感電の原因となります。



●ぬらすことの禁止

本装置に水が入ったり、ぬらさぬようご注意ください。

火災・感電の原因となります。

(4) その他のご注意



注意



●雷のときの注意

雷が激しいときは、電源コードをコンセントから抜いてください。万一落雷があった場合、火災・感電の原因となることがあります。雷が発生した際は、感電のおそれがあるので、電源アダプタ、電源コードおよびLAN ケーブルに触れないようにしてください。



●電源ケーブルの清掃

コンセントとソケットの間のほこりは定期的に（半年に1回程度）に取り除いてください。放置しておくと、火災・感電の原因となることがあります。



●長期間ご使用にならないときの注意

長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源コードをコンセントから抜いてください。

●著作権について

音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作権者及び著作権者の権利が保護されています。このした著作物を複製することは、個人的に又は家庭内で使用する目的のみで行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」、「著作人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本装置を使用して複製などをされる場合には、著作権法を遵守の上、適切にご使用をこころがけていただきますようお願いいたします。

●プライバシー・肖像権について

カメラの設置や利用につきましては、お客様の責任で被写体のプライバシー、肖像権などを考慮のうえ、行ってください。
※「プライバシーは、私生活をみだりに公開されないという法的保障ないし権利、もしくは自己に関する情報をコントロールする権利。また、肖像権は、みだりに他人から自らの容ぼう・姿態を撮影されたり、公開されない権利」と一般的に言われています。

●セキュリティーについて

本装置をネットワークに接続する場合、必ずパスワードを設定してください。また、設定したパスワードは忘れないようにメモしてください。パスワードを設定しないと、映像が外部に流出するおそれがあります。

●免責事項について

- ・地震・雷・風水害などの天災および当社責任以外の火災、第三者による行為、その他事故、お客様の故意または過失・誤用・その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- ・「取扱説明書」（本書）の記載内容を守らないことにより生じた損害に関しては、一切責任を負いません。
- ・本書に記載されている付属品・ソフトウェア以外の機器の接続やソフトウェアの使用により、誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- ・事故や本装置の故障・修理・その他取り扱いによって、本装置に登録された設定データなどが変化または消失することがありますが、これらのデータの修復により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

●内蔵ハードディスクを交換した場合

お客様が内蔵ハードディスクの交換を行った時点から、納品日からの1年間の無償保証対象外となりますので予めご了承ください。

●内蔵ハードディスクを交換した場合

ハードディスクを連続して使用すると、ヘッドやモーターの摩耗および劣化が発生します。性能を維持させるために、(周囲温度 25℃使用時) 2～3年程度を目安に交換をお勧めします。通電時間が2～3年を超えると、書き込みエラーなどが発生しやすくなります。
※交換は目安であり性能を保証するものではありません。

●設置工事をご希望の場合

カメラ・録画装置の設置工事をご希望する場合、弊社までご連絡ください。(連絡先は、本書裏面に記載)

●設置工事をされる方へ

ノイズが発生するおそれがある環境(機器の近く)に設置する場合、必要に応じて次の対策も行ってください。

- ・シールド付き LAN ケーブルを使用してください。
- ・録画装置本体の裏面の接地端子(ネジ)からアースを取ってください。
- ・ケーブルにフェライトコアを取り付けて、ノイズを低減させてください。

●商標について

- ・Ethernet およびイーサネットは、富士ゼロックス株式会社の登録商標です。
- ・Microsoft、Windows、Windows Media Player、Internet Explorer またはその他のマイクロソフト製品の名称および製品名は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- ・QR コードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- ・Wi-Fi は、Wi-Fi Alliance の登録商標です。
- ・本書に記載されているその他の製品名、会社名は、各社の登録商標、または商標です。

1-2. 構成品一覧

ご使用いただく前に、次の構成品が全部そろっているか確認してください。

万一、足りない場合は、お手数ですがお買い上げの販売店または弊社までご連絡ください。



IP カメラ×3
(ネジ・防水部材を含む)



ドームカメラ×1
(ネジ・防水部材を含む)



カメラ用
電源アダプタ×4



カメラケーブル
(15m)×4



カメラケーブル
(5m)×1



モニター付録画装置
(録画装置)×1



録画装置用
電源アダプタ×1



マウス×1



取扱説明書×1

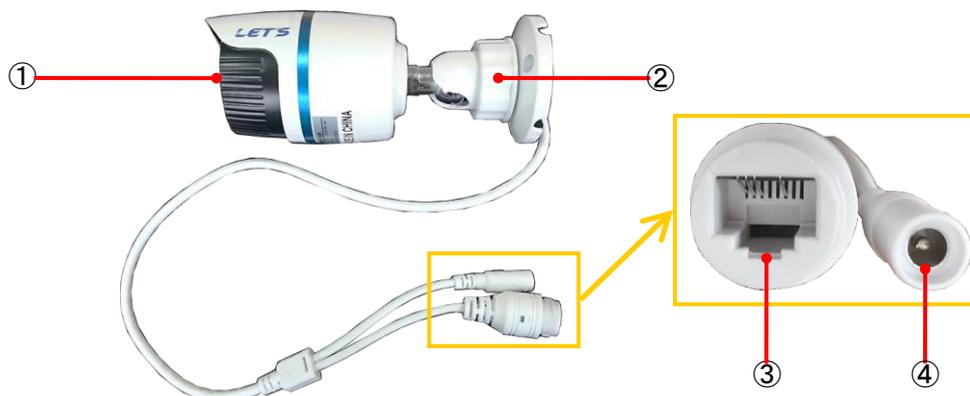
◆ネットワークに接続する場合、さらに以下の構成品も準備してください。

・スイッチングハブ・ネットワーク網に接続するLANケーブル・インターネット接続環境など

◆カメラと録画装置の電源アダプタを5つ接続が必要なため、電源タップをご用意ください。

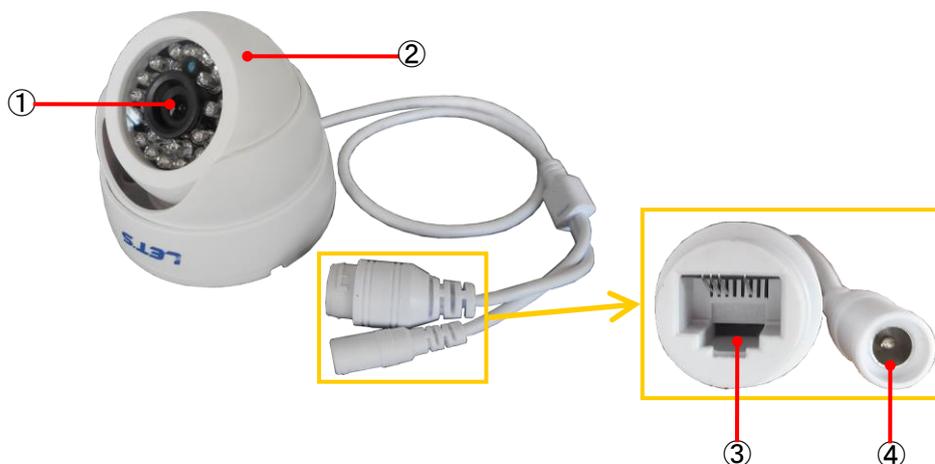
1-3. 外観および各部名称

1-3-1. IPカメラ



①	カメラレンズ	被写体を撮影します。
②	ロックつまみ	IPカメラの向きを変えることができます。 反時計方向に回すと、緩めることができます。
④	LAN 端子	カメラケーブルのLAN端子を接続します。
⑤	電源端子	カメラケーブルの電源端子を接続します。

1-3-2. ドームカメラ



①	カメラレンズ	被写体を撮影します。
②	カメラガイド	カメラの角度を変えることができます。
③	LAN 端子	カメラケーブルのLAN端子を接続します。
④	電源端子	カメラケーブルの電源端子を接続します。

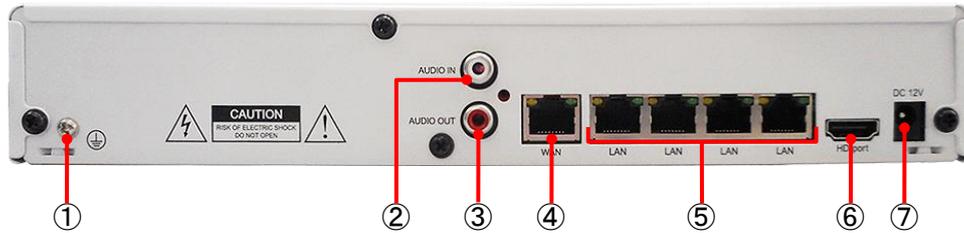
ドームカメラの設定は、ウェブブラウザから行なうことができます。通常は設定不要です。

本体に接続して、設定画面から IP アドレスを確認します。

ウェブブラウザに、IP アドレスを入力すると、専用ブラウザ画面が表示されます。

専用ブラウザの「User」は「admin」、「パスワード」は「入力不要」でログインし、設定が行えます。

1-3-3. 録画装置【裏側】



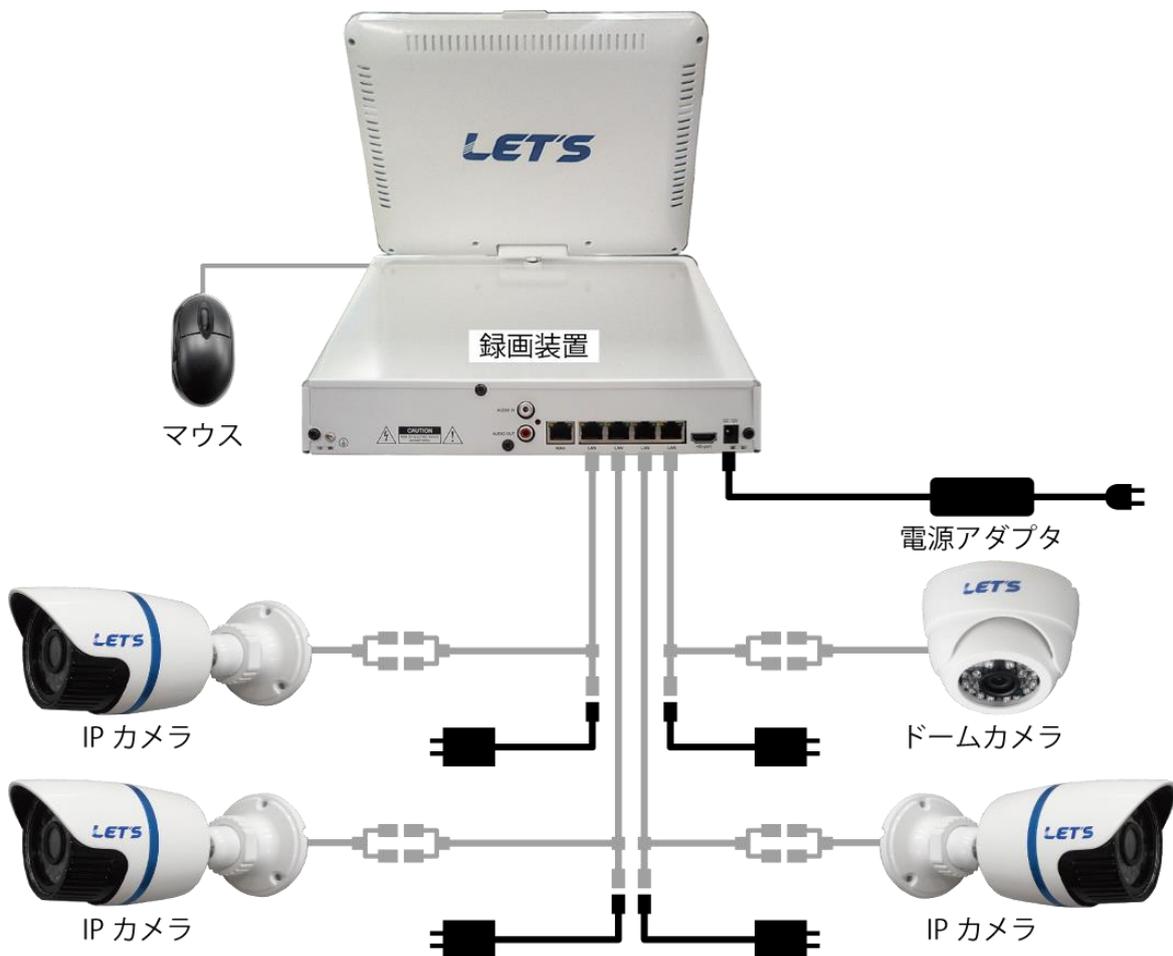
①	接地	接地端子です。
②	AUDIO 入力	音声を入力する RCA コネクタです。
③	AUDIO 出力	音声を出力する RCA コネクタです。
④	WAN 端子	外部のネットワークに接続します。
⑤	LAN 端子	カメラケーブルの LAN 端子を接続します。
⑥	HDMI 出力	HDMI コネクタを接続すると、映像を出力します。
⑦	電源端子 (DC12V)	録画装置の電源アダプタ (12V/5A) を接続します。

1-3-4. 録画装置【表側】

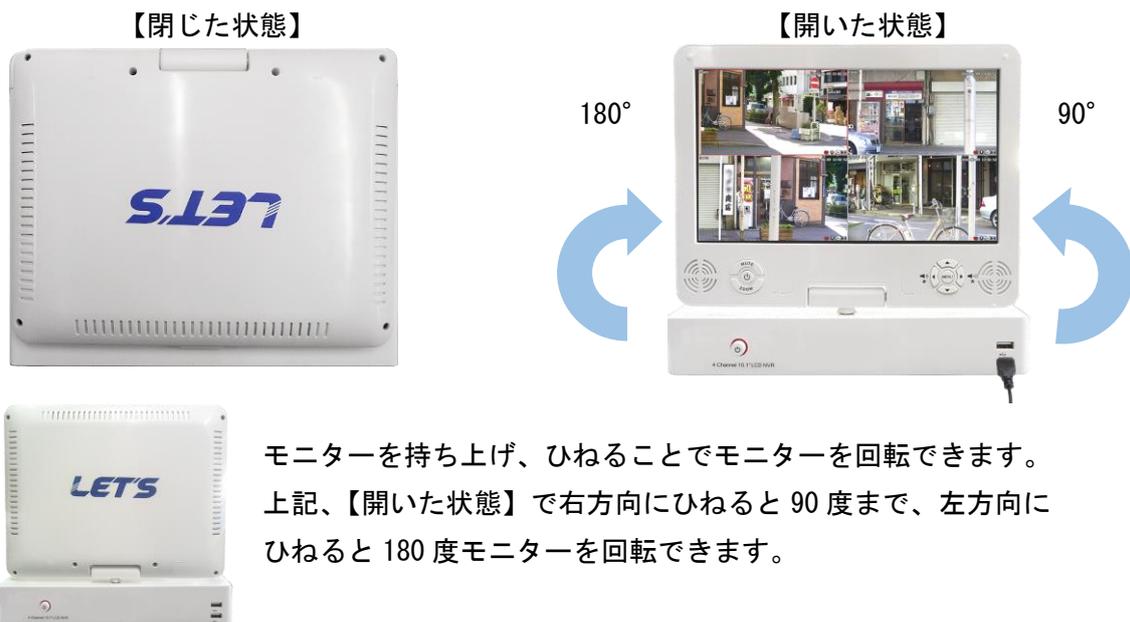


①	MUTE ボタン	モニターの音声を ON/OFF にします。
②	モニター電源	モニターの電源を ON/OFF します。
③	ZOOM ボタン	モニターの表示比率を変更します。[16 : 4] [4 : 3]に変更できます。
④	MENU ボタン	モニター設定を表示します。
⑤	矢印ボタン	モニター設定時に使用します。音量や画面の明るさ等を変更します。
⑥	電源ボタン	録画装置の電源を ON/OFF します。
⑦	USB 端子	USB マウスや USB メモリなどを接続します。

1-4. 接続構成図



● 録画装置モニター部の角度調節について



2. 設置方法

録画装置とカメラを設置する方法を説明します。

IP カメラは水の浸入に対する保護等級 IP66 相当(あらゆる方向からの強い噴流水による有害な影響がない)相当の仕様を有しており、風雨にさらされても問題はありません。長く大切にご使用いただくために、雨や日差しを避けた設置環境(軒下など)をお勧めします。

ドームカメラは非防水の為、必ず屋内、かつ水が掛からない場所に設置してください。

2-1. 設置する際の注意事項

下記の注意事項をよくお読みください。

- | | |
|---|--|
| 警告 | |
|  | 不安定な場所、振動の多い場所、強度の弱い壁には取り付けしないでください。カメラを取り付けても十分に支えられる壁面にしっかりと取り付けてください。落下する恐れがあり、破損やケガの原因となることがあります。 |
|  | 壁面内の配線や配管(ガス管・水道管等)を傷つけないように取り付けてください。ネジなどで配線や配管を傷つけると、火災・感電の原因となります。 |
|  | AC100V 商用電源以外では絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となります。 |
|  | 専用の電源アダプタおよび電源コード以外は絶対に使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。 |
|  | 本装置は日本国内専用です。国外で使用すると火災や感電の原因となります。
また、他国には独自の安全規格が定められており、本装置は適合していません。 |
|  | 万一、煙が出ている、異臭がする等の異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源コードをコンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認してから、ご購入店か弊社に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。 |
|  | 録画装置・カメラを分解・改造しないでください。火災・感電の原因となります。 |

- | | |
|---|--|
| 注意 | |
|  | 壁の穴開け工事については、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。 |
|  | モルタル塗装の場合、穴開けにより、古い壁が落ちることがありますので、注意して穴開けをしてください。 |
|  | 録画装置を不安定な場所に置かないでください。また、録画装置の上に重い物を置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けが・故障の原因となります。 |
|  | 録画装置・カメラを次のようなところへの設置は避けてください。 <ul style="list-style-type: none">・火気のそば・油飛びや湯気が当たるような場所・不安定な場所・ほこりが多い場所・極度に振動が激しい場所・気化した薬品が充満した場所や、薬品に触れる場所・強い磁界を発生する装置などが近くにある場所・極度に高温や低温になる場所・直射日光が当たるところ・重電機器、医療機器、電磁波の発生する機器の近く |

正しく設置するために

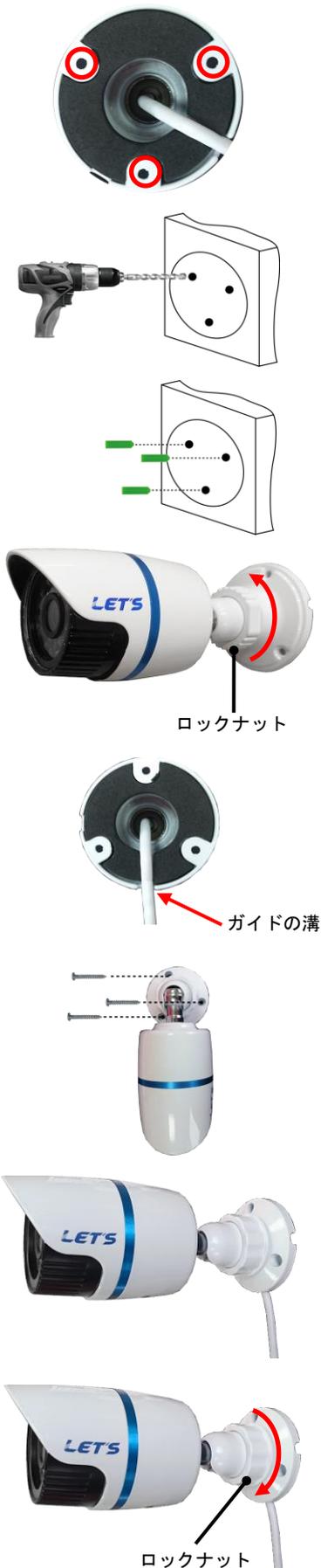
- ・カメラを正しく設置するために、ネジの取り付け位置をあらかじめご確認ください。
- ・同梱品のケーブルの長さは約 15m です。ケーブルの長さに合うように設置してください。

設置工事をされる方へ

- ノイズが発生するおそれがある環境(機器の近く)に設置する場合、必要に応じて次の対策も行ってください。
 - ・シールド付き LAN ケーブルを使用してください。
 - ・録画装置本体の裏面の接地端子(ネジ)からアースを取ってください。
 - ・ケーブルにフェライトコアを取り付けて、ノイズを低減させてください。

2-2. IPカメラの設置

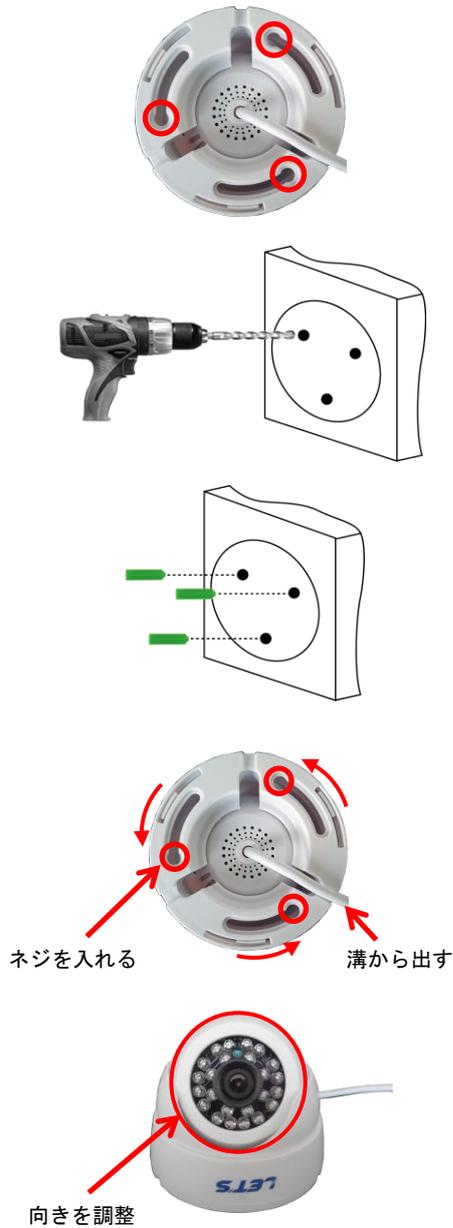
IPカメラを壁に取り付ける場合を例に説明します。



1. カメラのネジ穴位置を確認してから、壁に取り付ける場所を決めます。
2. 壁に穴を開けます。
φ6~6.5mmのドリルビットを使用し、深さ30mmのガイド穴を開けます。
3. ガイド穴に、アンカープラグを押し込んで入れます。
4. カメラを取り付ける前に、ユニバーサルジョイントを緩めるため、ロックナットを反時計回りに回して緩めます。
5. ケーブルをガイドの溝からケーブルを出します。
6. ベースのガイド穴を通し、ドライバーでネジを締めて壁に密着させます。
7. 必要に応じて、ユニバーサルジョイントの開口部を調整し、カメラ向きを変えます。
8. ロックナットを時計回りに回して締めます。

2-3. ドームカメラの設置

ドームカメラを壁や天井に取り付ける場合を例に説明します。



1. カメラのネジ穴位置を確認してから、壁に取り付ける場所を決めます。
2. 壁に穴を開けます。
φ6~6.5mm のドリルビットを使用し、深さ 30mm のガイド穴を開けます。
3. ガイド穴に、アンカープラグを押し込んで入れます。
4. ドームカメラの底部の溝にネジを入れ、矢印の方向にドームカメラを回して固定します。
5. 必要に応じて、カメラ向きを変えます。

2-4. カメラケーブルの防水方法

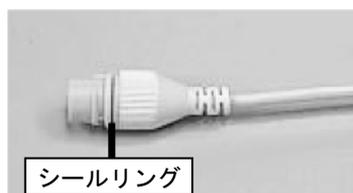
ケーブルの端子を水滴から防ぐため、防水処理する方法を説明します。

防水プルボックス等に収納する場合は不要です。

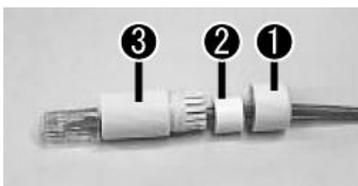
LAN ケーブルおよび電源端子の接続部が濡れる可能性がある場合、電源接続部および LAN ケーブル接続部を市販の自己融着テープを巻いて防水します。



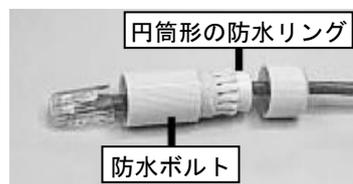
LAN ケーブルを延長等により自作する場合、コネクタを付ける前に付属の防水部材を取り付けられます。



1. 防水コネクタにシールリングを取り付けます。



2. LAN ケーブル端子に、防水部品を番号順に挿入します。



3. ガイド穴に、アンカープラグを押し込んで入れます。



4. ドームカメラの底部の溝にネジを入れ、矢印の方向にドームカメラを回して固定します。



5. 必要に応じて、カメラ向きを変えます。



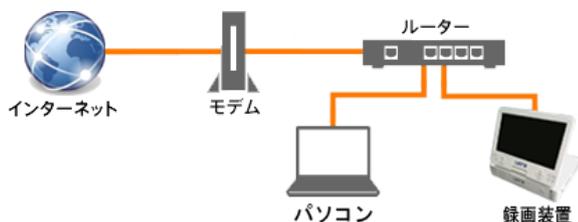
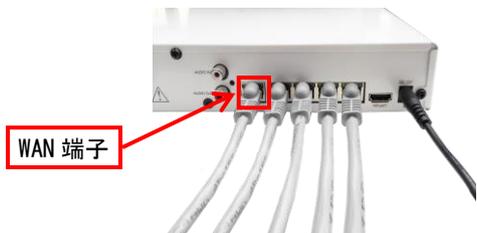
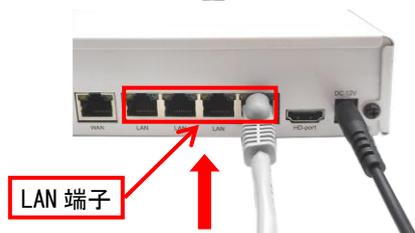
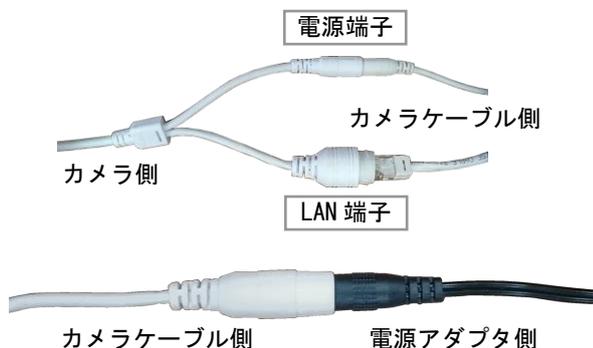
6. LAN 端子の防水処理を完了します。

2-5. 録画装置の接続

カメラと録画装置を接続します。またネットワークに接続することも可能です。

ネットワークの接続機器等は、お客様側でご用意ください。

カメラと録画装置の電源アダプタを5つ接続が必要なため、電源タップ等をご用意ください。



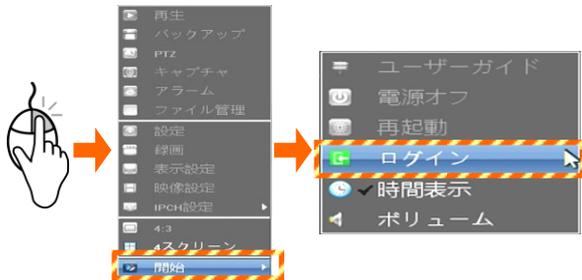
1. カメラとカメラケーブルを接続します。
LAN 端子と電源端子をそれぞれ接続します。
2. カメラケーブルの電源端子を、カメラ用電源アダプタに接続します。
3. 録画装置の裏側の電源端子に、電源アダプタ (12V/5A) を接続し、電源プラグを電源コンセントに接続します。
4. カメラケーブルの LAN 端子を、録画装置の LAN 端子に接続します。
5. 【ネットワークに接続する場合】
録画装置の WAN 端子に LAN ケーブルを接続し、ネットワークに接続します。
ネットワークに接続しない場合は、手順7にすすみます。
6. 【ネットワークに接続する場合】
ネットワーク環境に接続します。
(左図は一例です。)
7. 録画装置の表側の USB 端子に、USB マウスを接続します。
8. 録画装置の電源  ボタンを押します。
しばらくすると、カメラからのライブ映像が表示されます。

3. 基本操作

初期設定、録画と再生する方法を説明します。

3-1. 録画装置の初期設定

はじめて録画装置の起動したとき、ユーザーガイドの設定（初期設定）を行います。



1. ライブ映像画面で、マウスを右クリックし、メニューを表示させてから、[開始]→[ログイン]をクリックします。
ログイン画面が表示されます。



2. ユーザーを[admin]に選択し、パスワードは何も入力せずに、[ログイン]をクリックします。
「1. 言語」画面が表示されます。



3. 表示する言語を選択します。
また、画面右下側の「次から表示しない」に✓を入れてから、[次]をクリックします。
「2. 表示設定」画面が表示されます。



4. モニターの解像度を選択します。
ビデオフォーマットは、[NTSC]のままにします。
選択後、[次]をクリックします。
「3. ネットワーク設定」画面が表示されます。



5. 【ネットワークに接続する場合】
IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを設定します。DHCPで割り当てる場合、✓を入れます。設定後、[次]をクリックします。

【ネットワークに接続しない場合】

[次]をクリックします。

6. ユーザーガイドの設定を終え、ライブ映像が表示されます。



3-2. ログイン操作

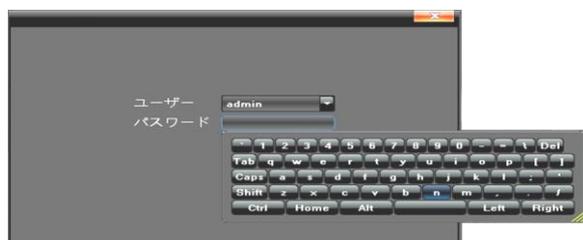
録画装置のメニューを操作するときには、ログイン操作が必要です。

工場出荷時の管理者のユーザー名は、「admin」、パスワードは設定されていません。



1. ライブ映像画面で、右クリックしてメニューを表示させます。

2. [開始]→[ログイン]をクリックします。
ログイン画面が表示されます。



3. ユーザーを選択し、パスワードを入力して、
[ログイン]をクリックします。
※初期設定状態は、ユーザーは「admin」、パスワードは入力せずに[ログイン]をクリックします。
※パスワード欄をクリックすると、キーボードが表示され、キーボードから文字を入力します。

3-3. 画面に表示されるアイコン

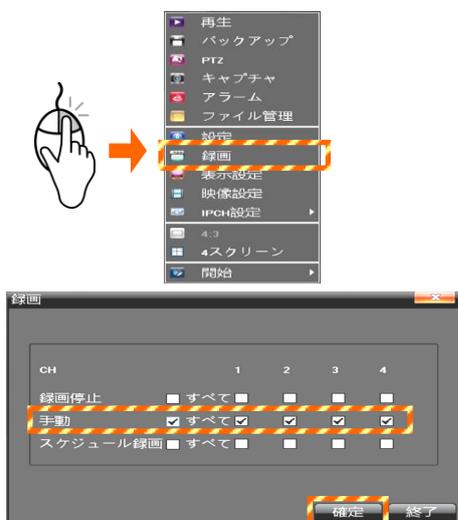
画面右下側に表示されているアイコンについて説明します。



-  録画中です
-  動体検知中です
-  使用しません
-  使用しません
-  画面をキャプチャーします
-  アラーム設定が有効です
-  音声を出力します
-  現在の時刻です

3-4. 手動録画の開始・停止

手動録画の開始方法および録画停止方法を説明します。



1. ライブ映像画面で、右クリックして、メニューを表示させ、[録画]をクリックします。
録画画面が表示されます。
2. 各チャンネルの録画状態を、手動にを入れて、[確定]をクリックします。
録画を停止する場合は、録画停止にを入れて、[確定]をクリックします。
設定後、[終了]をクリックします。

3-5. スケジュール録画

録画したい時間帯を自動で録画する、スケジュール録画の設定方法を説明します。



1. ライブ映像画面で、右クリックして、メニューを表示させ、[設定]をクリックします。
設定画面が表示されます。
2. 設定画面上部の[CH]タブをクリックしてから、[スケジュール録画]をクリックします。
スケジュール録画面が表示されます。
3. スケジュール録画するチャンネルを選択します。
4. 録画有効にを入れます。
5. 終日録画（常に録画）する場合、を入れ、スケジュール種類を選択します。
※スケジュールとは、指定した時間帯に対して自動で録画します。



6. 終日録画にしない場合、スケジュール種類⊙を選択します。

7. マウスをドラッグして、曜日と時間帯を選択します。



8. 録画時間の[設定]をクリックすると、スケジュールを分単位まで細かく設定できます。設定後[確定]をクリックします。



9. 他のチャンネルも手順3から8を参照し、スケジュールを設定します。



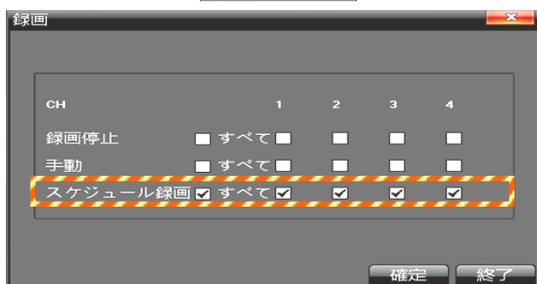
10. 他のチャンネルも同じスケジュールにする場合、右下の[コピー先]をクリックします。コピー先のチャンネルに✓を入れて、[確定]をクリックすると、同じスケジュールが設定されます。



11. 全てのチャンネルのスケジュールの設定を終えたら、[保存]をクリックします。設定が保存されます。右上の⊠をクリックして終了します。



12. ライブ映像画面で右クリックしてメニューを表示させ、[録画]をクリックします。



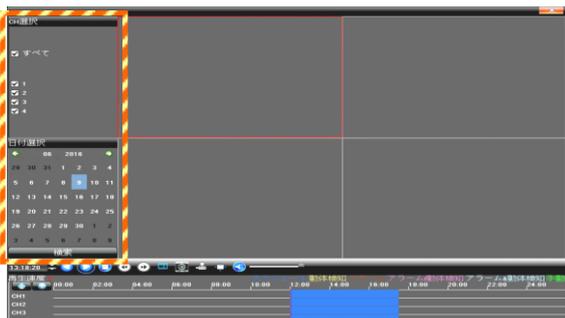
13. 各チャンネルの録画状態を、[スケジュール録画]に✓を入れて、[確定]をクリックします。設定後、[終了]をクリックします。

3-6. 再生方法

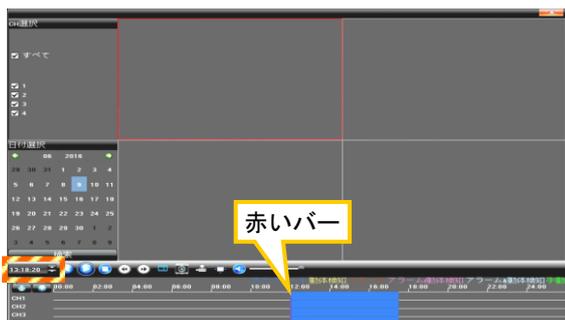
録画した映像を再生する方法を説明します。録画中でも再生することができます。



1. ライブ映像画面で、右クリックして、メニューを表示させ、[再生]をクリックします。
再生画面が表示されます。



2. 再生するチャンネルを選択し、録画した日付を選択し、[検索]をクリックすると、画面下部に録画されている時間帯が表示されます。



3. 再生を開始する時間帯（赤いバー）の場所に、マウスを合わせ、ダブルクリックすると、再生を開始します。
また、左端の「時・分・秒」を指定して再生することも可能です。



4. 一時停止、停止、再生速度の変更、早送り、巻戻し、コマ送り、スナップショットを撮る操作が可能です。
5. 再生画面を終える場合は、画面右上の☒をクリックして終了します。

3-7. 録画映像をバックアップする

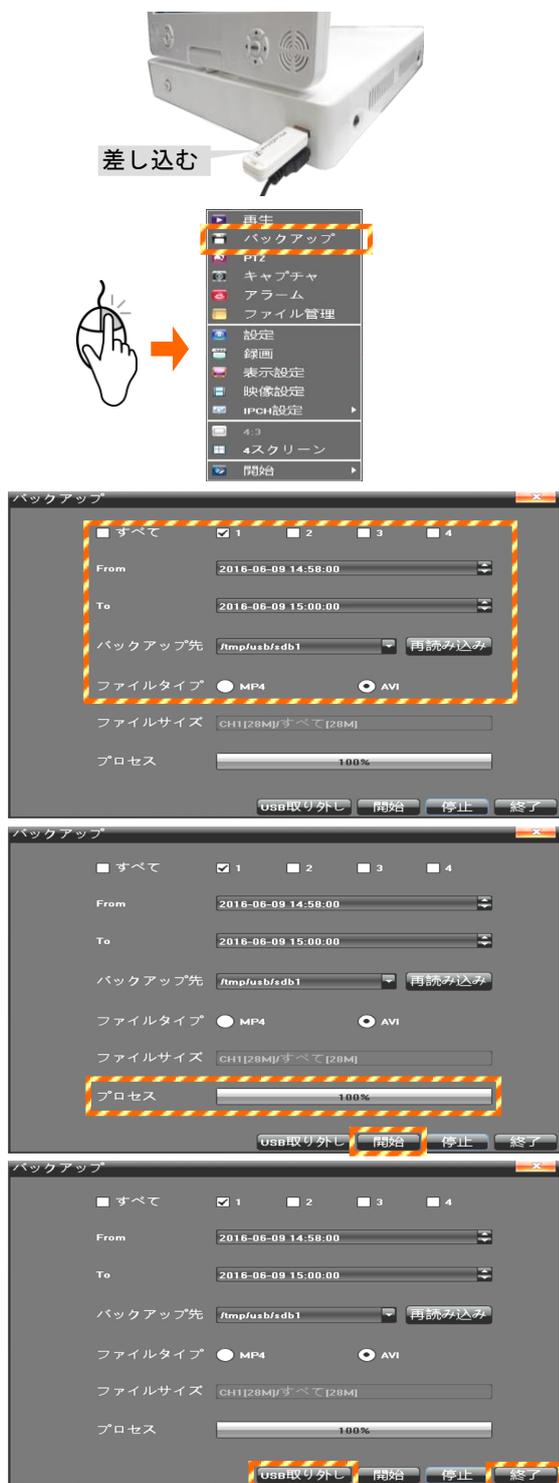
録画されている映像を、USB 記録媒体 (USB メモリ等) にバックアップ (コピー) します。

録画中でもバックアップすることができます。

メモ : USB 記録媒体は、あらかじめパソコンで FAT32 または NTFS 形式のフォーマットをしてください。

バックアップしたファイルは、H. 264 コーデックに対応した動画再生ソフトで再生可能です。

ファイル名は、「チャンネル番号_開始時間_終了時間.avi」です。



1. USB 端子に、USB メモリを接続します。
2. ライブ映像画面で、右クリックして、メニューを表示させ、[バックアップ]をクリックします。再生画面が表示されます。
3. バックアップ先が表示されていることを確認してから、バックアップするチャンネル、開始時間 (From)、終了時間 (To)、ファイルタイプ (AVI) を選択します。
※ファイルタイプは AVI 形式を選択してください。
4. [開始]をクリックすると、バックアップを開始します。「プロセス」が 100%と表示されたら、バックアップ (コピー) が完了です。
5. [USB 取り外し]をクリックしてから、USB メモリを取り外します。
6. 「操作完了」のメッセージが表示されたら、[確定]をクリックし、さらに[終了]をクリックして終了します。

3-8. 録画装置の時刻を調整する

録画装置の日付・時刻を調整する方法を説明します。

ご注意：時刻は定期的（1週間に1度）に確認してください。必要に応じて[時間表示]をクリックして調整してください。長期間放置しておくと、時刻がずれていくことがあります。



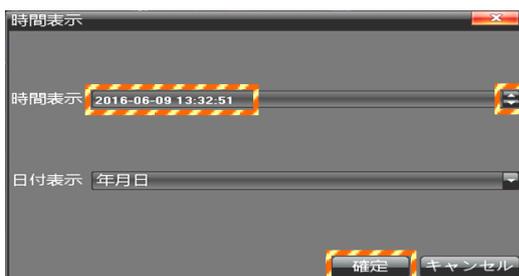
1. ライブ映像画面で、右クリックして、メニューを表示させ、[設定]をクリックします。設定画面が表示されます。



2. 設定画面上部の[デバイス]タブをクリックしてから、[デバイス情報]をクリックします。デバイス情報画面が表示されます。



3. 画面下側の時刻表示の[設定]をクリックします。時刻表示画面が表示されます。



4. 変更する[年] [月] [日] [時] [分] [秒]に、カーソルを当てて、右側の[▲][▼]をクリックして、数字(時刻)を変更します。

5. 変更後、[確定]をクリックします。



6. 警告画面が表示されます。「保存成功」と表示されます。[確定]をクリックして、時刻を確定させます。

メモ：時刻の調整をネットワーク（時刻サーバー）と連動して使用することもできます。

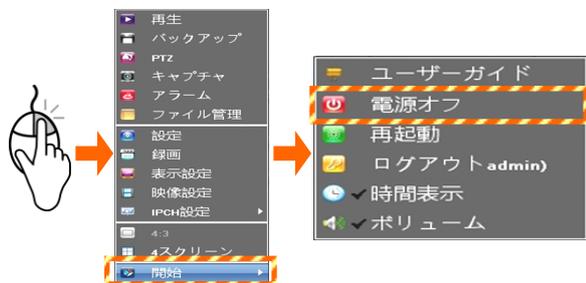
この機能を使用することにより、自動で時間のズレを低減することができ、上記の操作が不要になります。詳細は、「5-3-3. NTP設定」を参照してください。

3-9. 録画装置の電源を切る

録画装置の使用を終え、電源を切る方法を説明します。

録画装置を長期間使用しない場合は、電源を切断してください。

ご注意：以下の手順を踏まえずに電源（）ボタンを押すと、録画データ等が消失するおそれがあります。



1. ライブ映像画面で、マウスを右クリックし、メニューを表示させてから、[開始]→[電源オフ]をクリックします。
警告画面が表示されます。



2. 「シャットダウンしますか」と表示されます。
[確定]をクリックします。



3. 「電源オフにしてください。」と表示されたら、録画装置の電源  ボタンを押します。

4. メニューの説明

録画装置のメニューについて説明します。

マウスを右クリックすると、メニューが表示されます。

メニュー操作するには、ログイン操作 (P. 18 を参照) が必要です。

■メニュー画面

 再生	… 再生画面を表示します	P. 21
 バックアップ	… 録画データをバックアップします	P. 22
 PTZ	… 使用しません	
 キャプチャ	… 選択画面をキャプチャー (静止画を保存) します	
 アラーム	… アラームの ON/OFF を設定します	
 ファイル管理	… 外部記録媒体を接続した場合、ファイル操作をします	
 設定	… 録画装置の設定を行います	P. 26
 録画	… スケジュール録画、手動録画、または録画停止します	P. 19
 表示設定	… モニターの表示設定 (言語、解像度等) をします	
 映像設定	… 映像の明るさやコントラスト等の設定をします	
 IPCH設定 ▶	… 変更しないでください (カメラのアドレスを設定します)	
 4:3	… 使用しません	
 4スクリーン	… クリックすると、4分割画面に表示されます	
 開始 ▶	… 電源オフやログイン操作をします	

■開始メニュー

 ユーザーガイド	… 初期設定を行います	P. 17
 電源オフ	… シャットダウンします	P. 24
 再起動	… 再起動します	
 ログアウト admin)	… ログアウトします	
 ✓ 時間表示	… 時刻を表示 (✓) / 非表示します	
 ✓ ボリューム	… 音声出力を ON (✓) / OFF にします	
 ユーザーガイド		
 電源オフ		
 再起動		
 ログイン	… ログインします	P. 18
 ✓ 時間表示		
 ボリューム		

5. 設定画面

録画装置のシステム設定を行います。

ご注意：設定後、画面右上の[保存] アイコンをクリックして、設定を保存します。
[保存]をクリックしないと、設定が反映されません。

5-1. デバイス設定

5-1-1. デバイス情報

録画装置の設定（主に時刻変更）を行います。変更した場合、[保存]をクリックします。

ご注意：時刻は定期的（1週間に1度）に確認してください。必要に応じて[時間表示]をクリックして調整してください。長期間放置しておくと、時刻がずれていくことがあります。

詳しくは、「3-8. 録画装置の時刻を調整する」を参照してください。



デバイス名	録画装置に名前を付けることができます。複数台ある場合は、名前を付けてください
デバイス ID	録画装置の番号です
パネルバージョン	使用しません
RS485	使用しません
デバイスシリアル NO	リモート接続に使用される専用の ID です
CH 番号、HDD 番号	変更できません
アラーム入力/出力番号	変更できません
ビデオフォーマット	映像方式を切り替えられます。通常は変更不要です
ストリームタイプ	変更できません
Protocol	サポートするプロトコルを選択します
時間表示	録画装置の時刻を設定します。時刻表示画面が表示されます。

5-1-2. バージョン

録画装置のバージョンが確認できます。



5-1-3. PTZ設定

この設定は行いません。



5-1-4. DST設定

✓を入れないでください。(サマータイムが設定されます。)



5-1-5. QRコード

本装置では、使用しません。



5-2. CH設定

5-2-1. 表示設定

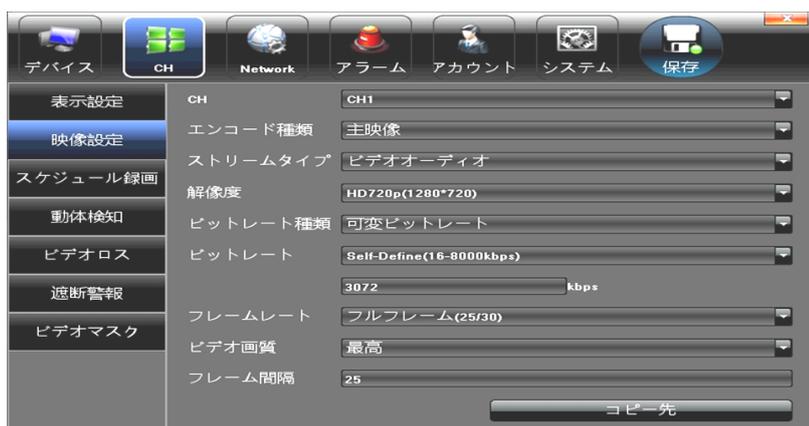
表示画面の設定を行います。設定後、[保存]をクリックします。



CH	設定するチャンネルを選択します
名称表示	ローカルカメラ名またはカメラ名を表示するか選択します
(ローカル)カメラ名	(ローカル)カメラ名を変更できます
時間表示	24時間または12時間表示を選択します
日付表示	年・月・日の表示順を選択します
OSD位置	画面上のカメラ名の位置と日付を設定します
映像設定	画像のパラメータ(明るさ・コントラスト・彩度・色調)を設定します
センサー	カメラの昼夜切替、露出、アイリス、ガンマ等の調整ができます
コピー先	他のチャンネルに、上記の設定をコピーします

5-2-2. 映像設定

映像画質の設定を行います。設定後、[保存]をクリックします。



CH	設定するチャンネルを選択します
エンコード種類	録画するストリームを選択します
ストリームタイプ	録画するとき音声入力をサポートするかどうかを選択します
解像度	解像度を選択します
ビットレート種類	可変ビットレート、または固定ビットレートを選択します
ビットレート	ビットレートを選択します(ビットレート値が大きいとHDD容量が多くなります)
フレームレート	1秒あたりのフレーム数を選択します
ビデオ画質	画質を選択します
フレーム間隔	変更しないでください
コピー先	他のチャンネルに、上記の設定をコピーします

5-2-3. スケジュール録画

自動で録画する曜日・時間帯・録画の種類を設定することができます。設定後、[保存]をクリックします。

設定方法：

1. チャンネルを選択します。
2. 録画有効に✓を入れます。
3. 終日録画（常に録画）の場合、✓を入れ、スケジュール種類を選択します。（手順7へ）
4. 終日録画にしない場合、設定するスケジュール種類に、⊙を入れます。
5. マウスをドラッグして曜日と時間帯を選択します。
6. 録画時間をクリックし、詳細な時間を設定します。
7. 必要に応じて、高度設定（指定した時間帯の前後の録画）を設定します。
8. 手順1に戻り、他のチャンネルの設定を行います。

または、必要に応じて[コピー先]をクリックし、他のチャンネルに設定をコピーします。

9. 設定後、[保存]をクリックします。



CH	設定するチャンネルを選択します
録画有効	✓を入れることにより、スケジュール録画を有効にします
終日録画	✓を入れることにより、終日指定したスケジュール録画を設定します
スケジュール	録画の種類を指定します
時間帯領域	マウス操作で、実行する曜日と時間帯を選択します（選択時、終日録画の✓を外す）
録画時間	マウス操作より詳細に、時間帯を指定してスケジュールの設定します
高度設定	指定した録画時間帯の前後の録画時間を設定します
コピー先	他のチャンネルに、上記の設定をコピーします

5-2-4. 動体検知

映像に動きを検知する設定を行います。設定後、[保存]をクリックします。

※動体検知とは、映像データ（被写体）の変化を検知した時に録画する機能です。

人または車両が動くとき、映像データが変化するため、動体検知したと判定します。

この動作は、樹木の揺れ、光、影の変化でも検知する場合があります。この場合、感度を調整します。

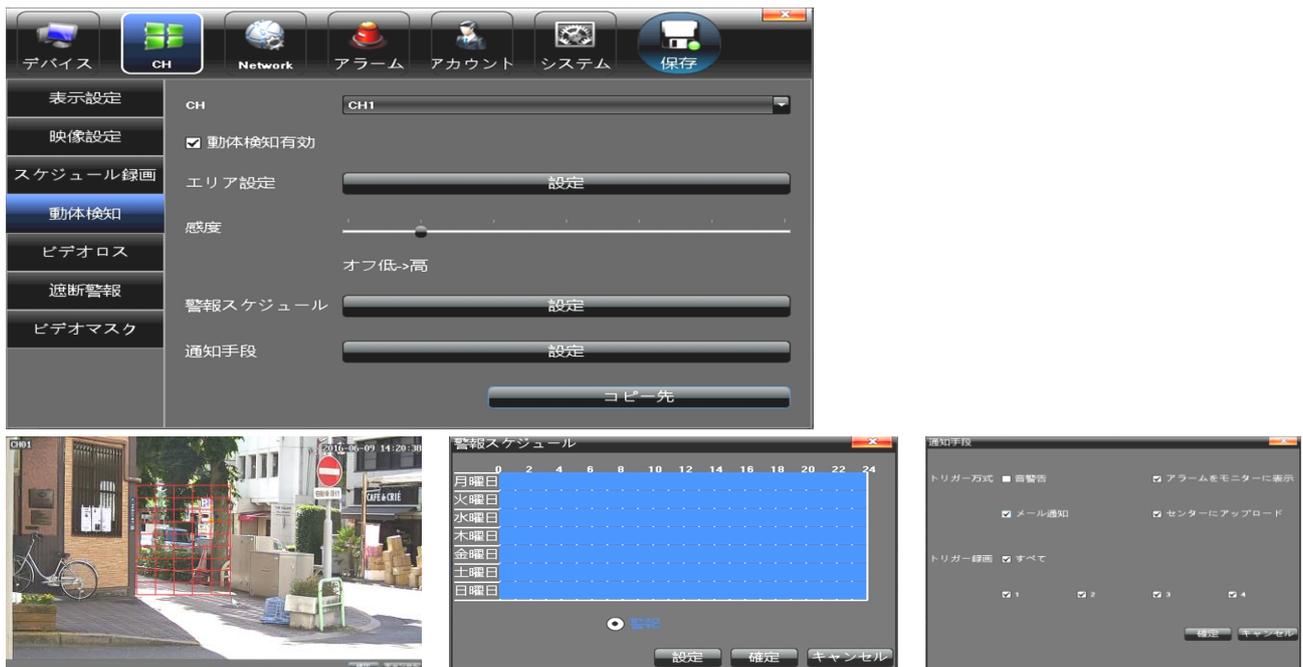
動体検知による録画をする場合は、この設定とスケジュール録画の設定を合わせて行います。

設定方法：

1. 動体検知するチャンネルを選択します。
2. 録画検知有効に✓を入れます。
3. 動体検知するエリアを選択します。（赤枠が検知エリア）
4. 動体検知する感度（右側ほど敏感）を調整します。
5. 警報スケジュール（動体検知する時間帯）を設定します。
6. 通知手段（音警告、モニターに表示、録画など）を選択します。
7. 手順1に戻り、他のチャンネルの設定を行います。

または、必要に応じて[コピー先]をクリックし、他のチャンネルに設定をコピーします。

8. 設定後、[保存]をクリックします。



CH	設定するチャンネルを選択します
動体検知有効	✓を入れることにより、動体検知を有効にします
エリア設定	動体検知するエリアをマウスで指定します（赤枠が検知エリア）
通知手段	動体検知が動作する感度を指定します（右側にスライドするほど敏感に検知します）
警報スケジュール	動体検知が動作する時間帯を指定します
通知手段	動体検知したときに通知する手段（音警告、モニターに表示、録画）を指定します
コピー先	他のチャンネルに、上記の設定をコピーします

5-2-5. ビデオロス

ビデオロス（映像が途切れる）が発生した場合の通知設定を行います。設定後、[保存]をクリックします。



5-2-6. 遮断警報

映像が改ざんされている場合の通知設定を行います。設定後、[保存]をクリックします。



5-2-7. ビデオマスク

映像にしたくない部分をマスク処理（目隠し）します。設定後、[保存]をクリックします。

設定方法：

1. マスク処理するチャンネルを選択します。
2. ビデオマスク有効に✓を入れます。
3. マスク処理するエリアを選択します。（赤枠がマスク処理するエリア）
4. 設定後、[保存]をクリックします。



5-3. Network設定

ご注意：ネットワークの設定を変更する場合、必ずネットワーク管理者に確認してください。

正しく設定を行わないと、録画装置にアクセスできなくなるだけでなく、他のネットワーク機器が使用できなくなる恐れがあります。

5-3-1. ネットワーク設定

ネットワーク接続するための設定を行います。設定後、[保存]をクリックします。



NIC	変更できません
IP	手動によりネットワークパラメータを設定するか、「DHCP」を選択します アドレスが競合しないように、正しい IP アドレスを設定してください
サブネットマスク	サブネットマスクを入力します（通常は 225. 225. 225. 0 を使用します）
デフォルトゲートウェイ	デフォルトゲートウェイを入力します
DNS1	DNS（ドメインネームシステム）のチーフアドレスを入力します
DNS2	DNS（ドメインネームシステム）のスペアアドレスを入力します
MAC	録画装置の MAC アドレスです
デフォルトルート	変更できません
リモートポート	リモートポート番号を設定します
HTTP ポート	HTTP ポート番号を設定します
RTMP Port	RTMP サービスを使用する場合、✓を入れて、ポート番号を設定します
RTSP Port	RTSP サービスを使用する場合、✓を入れて、ポート番号を設定します
RTSP Http Port	RTSP HTTP ポート番号を設定します
アドバンス	PPPoE、UPnP の設定を行います

5-3-2. DDNS設定

DDNS（ダイナミックドメインネームシステム）を使用する場合、設定を行います。

設定後、[保存]をクリックします。



5-3-3. NTP設定

ネットワークを通じて時刻を自動で調節する場合、NTP有効に✓を入れ、NTPサーバーのアドレスを指定します。設定後、[保存]をクリックします。



5-3-4. Eメール設定

アラーム発生時に、Eメールでメッセージを送信するための設定を行います。

1. 画面の上部では、メール送信側の設定を行います。
2. 画面の中央部では、メール受信者を3名まで登録できます。
3. 画面の下部では、SMTPサーバーの設定を行います。
4. 設定後、[保存]をクリックします。



5-3-5. 管理場所

管理プラットフォームを選択します。設定後、[保存]をクリックします。

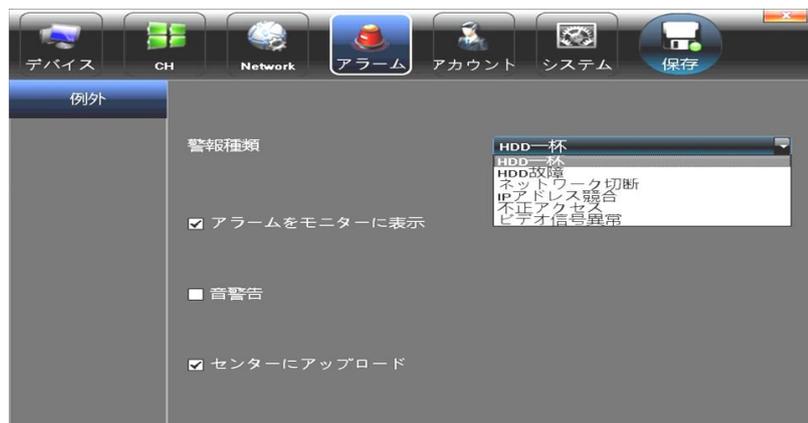


5-4. アラーム設定

アラーム通知する設定を行います。警報種類を選択して設定します。設定後、[保存]をクリックします。

設定方法：

1. 警報種類を選択します。
2. 適用する通知手段（3通り）に✓を入れます。
3. 手順1に戻り、他の警報種類を選択します。
4. 設定後、[保存]をクリックします。



5-6. システム設定

5-6-1. デバイスログ

録画装置のログ(履歴)を、時間指定して確認できます。またUSBメモリにエクスポートできます。

ログの主な種類 全てのタイプ
詳細種類
From 2016-06-09 14:00:00 検索
To 2016-06-09 16:59:59 エクスポート

	時間	種類	詳細種類	CH	ユー
1	2016-06-09 14:01:40	操作	ローカル録画開始	1	admin
2	2016-06-09 14:01:40	操作	ローカル録画開始	2	admin
3	2016-06-09 14:01:40	操作	ローカル録画開始	3	admin
4	2016-06-09 14:01:40	操作	ローカル録画開始	4	admin
5	2016-06-09 14:01:58	操作	設定入力		admin
6	2016-06-09 14:11:56	操作	ローカル再生		admin
7	2016-06-09 14:22:44	操作	設定入力		admin

5-6-2. ストリーム情報

映像の通信速度が確認できます。

CH	主映像	副映像	主映像	副映像
1	1804(kb/s)	513(kb/s)	792(MB/H)	225(MB/H)
2	1458(kb/s)	523(kb/s)	640(MB/H)	229(MB/H)
3	2681(kb/s)	517(kb/s)	1178(MB/H)	227(MB/H)
4	705(kb/s)	518(kb/s)	309(MB/H)	226(MB/H)

5-6-3. HDD設定

HDDの状態を確認できます。また、HDDをフォーマットすることができます。

ご注意：HDDをフォーマットすると、録画したデータが全て削除されます。

スマートエラーを無視

HDD番号	容量MB	空容量MB	状態	タイプ	シリア
1	476940	457740	ノーマル	ローカル	0.0.0

スマート属性
フォーマット

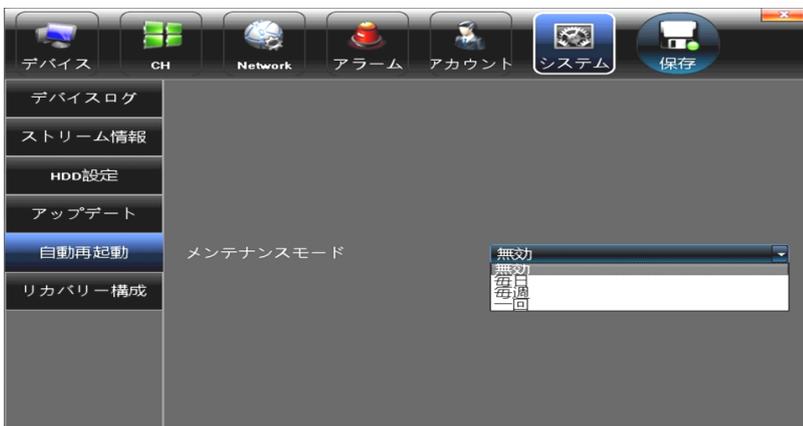
5-6-4. アップデート

操作しないでください。(録画装置のファームウェアをアップグレードする箇所です。)



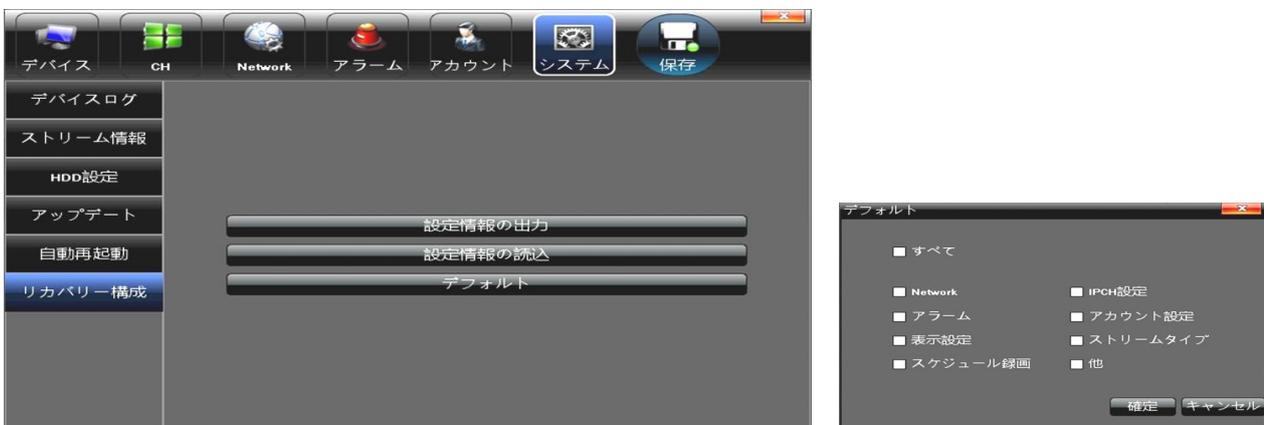
5-6-5. 自動再起動

指定の間隔で再起動する設定が行えます。設定後、[保存]をクリックします。



5-6-6. リカバリー構成

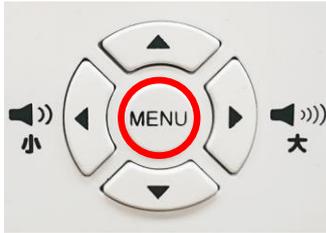
録画装置の設定を、USBメモリに保存する、USBメモリに保存した設定に変更することができます。また、指定した項目を初期設定に戻す(デフォルト)ことができます。



設定情報の出力	USBメモリに録画装置の設定を保存します 保存場所を指定し、[Choose]をクリックすると、設定が保存されます
設定情報の読込	USBメモリに保存した録画装置の設定を、録画装置に反映させます 「dvrCFG_(保存した日付_時刻).cfg」を選択し、[Open]をクリックします 設定の読込後、録画装置は再起動します
デフォルト	工場出荷時の設定(対象の設定に✓を入れる)に戻します

6. モニターメニュー

モニターの明るさなどを設定します。

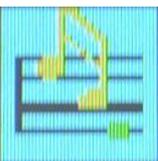
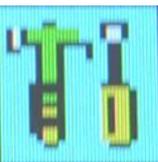


[MENU]ボタンを押すと、【PICTURE】→【AUDIO】→【FUNCTION】→【SYSTEM】→【モニター設定画面を閉じる】の順に設定を行なうことができます。

詳細項目の選択は[▲][▼]を押すと、変更が行えます。

数値や項目の設定は[◀][▶]を押すと、変更が行えます。



①		<p>【PICTURE】 明るさ (BRIGHTNESS) やコントラスト (CONTRAST) を変更できます。</p>
②		<p>【AUDIO】 モニター音量 (VOLUME) を変更できます。</p>
③		<p>【FUNCTION】 ZOOM 表示比率を [16 : 9] もしくは [4 : 3] に変更できます。 HPOSITION モニターの表示位置を水平方向に移動させます。 VPOSITION モニターの表示位置を垂直方向に移動させます。 AUTO 表示位置を自動にします。</p>
④		<p>【RESRT】 モニターの設定を、工場出荷時に戻します。</p>

7. トラブルシューティング

以下に、問題点が発生した場合の確認ポイントを記載します。

状態によっては、本装置の再起動などで改善する場合があります。

症 状	確認ポイント
モニターが写らない	<ul style="list-style-type: none"> 録画装置本体の電源アダプタが接続されているか 録画装置本体とモニターの電源ボタン(⏻)を押したか
ライブ映像が表示されない	<ul style="list-style-type: none"> カメラケーブルに電源アダプタが接続されているか ケーブルがカメラと録画装置本体に接続されているか
手動録画ができない	<ul style="list-style-type: none"> [メニュー]→[録画]の画面で、手動に✓が入っているか
スケジュール録画ができない	<ul style="list-style-type: none"> [メニュー]→[録画]の画面で、スケジュール録画に✓が入っているか [メニュー]→[設定]→[CH]→[スケジュール録画]の画面で、スケジュール録画が正しく設定されているか (録画有効、チャンネル、スケジュール、時間帯の設定を確認)
モーション(動体検知)録画ができない	<ul style="list-style-type: none"> [メニュー]→[設定]→[CH]→[スケジュール録画]の画面で、スケジュール録画が正しく設定されているか (録画有効、チャンネル、動体検知、時間帯の設定を確認) [メニュー]→[設定]→[CH]→[動体検知]の画面で、動体検知が正しく設定されているか (動体検知有効、チャンネル、エリア設定、感度、警報スケジュールの設定が適正か確認)
アラーム音が鳴らない	<ul style="list-style-type: none"> [メニュー]→[開始]→[ボリューム]が有効になっているか [メニュー]→[アラーム]が有効になっているか 動体検知等、鳴らそうとする機能の設定が有効か (通知手段の設定で音警告に✓が入っているか)
HD-Network に接続できない	<ul style="list-style-type: none"> ネットワークの接続および設定が正しいか ログインユーザー名およびパスワードが正しいか
時刻がズレている	<ul style="list-style-type: none"> [メニュー]→[設定]→[デバイス]→[デバイス情報]の画面で、[時間表示]をクリックして時刻を調整してください ネットワークに接続できる場合、[メニュー]→[設定]→[Network]→[NTP 設定]の画面で、NTP サーバーの設定を行ってください

8. 仕様

本書に記載されている仕様または機能は、技術改善などにより予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

ネットワークカメラ

種類	IP カメラ	ドームカメラ
有効画素数	1280×720	1280×720
最低被写体照度	0.05 Lux (カラー時)	0.05 Lux (カラー時)
パン角度	—	360°
チルト角度	—	-10° ~+190°
電源	DC12V/1A	DC12V/1A
外形寸法(突起物を除く)	約φ65 mm×176 mm	約φ94 mm×80 mm
重量	約320 g	約160 g
使用温度範囲	-10~50 °C	-10~50 °C
保護等級	IP66 準拠 (屋外設置可能)	—

録画装置 (モニター付録画装置)

液晶サイズ	10 インチ
画面解像度	1280×720
カメラ接続台数	4 台
動画圧縮方式	H.264
録画解像度	1280×720
録画画質	6 段階
フレームレート	最大 25/30 fps
動体検知機能	有り
USB 端子	2 個 (USB2.0 対応)
外部記録媒体によるデータ移動	USB メモリによる映像取出し(バックアップ)が可能
セキュリティー機能	パスワードの設定が可能
ハードディスク容量	500 GB
外形寸法(突起物を除く)	約 275mm×250mm×215mm
重量	約 2.0 kg
連続録画時間	約 206 時間 (4CH、720P、25fps、3Mbps VBR)

【MEMO】

お問合せ先

本装置についてのお問い合わせは、販売店もしくは弊社までお願いいたします。

株式会社 **レッツ** コーポレーション

最寄りの営業所にお問い合わせください。

受付時間：9：30～18：00（土曜、日曜、祝日、年末年始を除く）

■本社

〒460-0002

愛知県名古屋市中区丸の内二丁目6-10 レッツ丸の内本社1号館ビル

愛知県名古屋市中区丸の内二丁目20-1 レッツ丸の内本社2号館ビル

TEL：052-201-6230 FAX：052-201-5050

■サービス

TEL：052-209-7860 FAX：052-201-5050

■東京営業所

〒104-0061

東京都中央区銀座八丁目19-3 銀座竹葉亭ビル6F

TEL：03-3546-0889 FAX：03-3546-0941

■大阪営業所

〒532-0003

大阪府大阪市淀川区宮原1-2-9 新大阪ハイロードビル5F

TEL：06-6151-5749

■URL <http://www.lets-co.jp/lets/>